



Our History

あゆみ

農業協同組合は、農会から産業組合へ、さらに農業会という農業団体の時代を経過し、戦後昭和22年に制定された農業協同組合法にもとづき設立されたものである。

以来約70年間、農家組合員の協同の力でつくられた組織として、販売・購買・信用・共済等各種の事業を行い、農家の豊かな営農とくらしを求めて活動している。JA宮崎経済連の前身は、大正6年の産業組合法により発足した信用販売購買利用組合連合会にさかのぼるが、JAの県段階組織として農家およびJAの大きな期待のもとに昭和28年4月1日、当時の販売・購買の二連合会が合併して設立された。

その後、北諸県郡を一円とした南部販購連と昭和34年10月1日に合併し、さらには県酪連と平成13年4月1日に合併を行い今日に至る。

Mission

使命

- 生産者の所得向上
- 宮崎県農業の発展
- 食の架け橋としての社会貢献
- 相互扶助による連携

Philosophy

経営理念

JA 宮崎経済連は「変革」「創造」「貢献」、この3本柱に基づき、協同組合理念に基づいた人財を育成しながら、経営資源を総合的に活用し、宮崎県農業の発展と組合員の暮らしのために、最高の機能を発揮します。

変革

Revolved Transform

私たちは、協同組合として常に自らの変革に努め、組合員、消費者、社会のニーズに応えることのできる組織になることを目指します。

創造

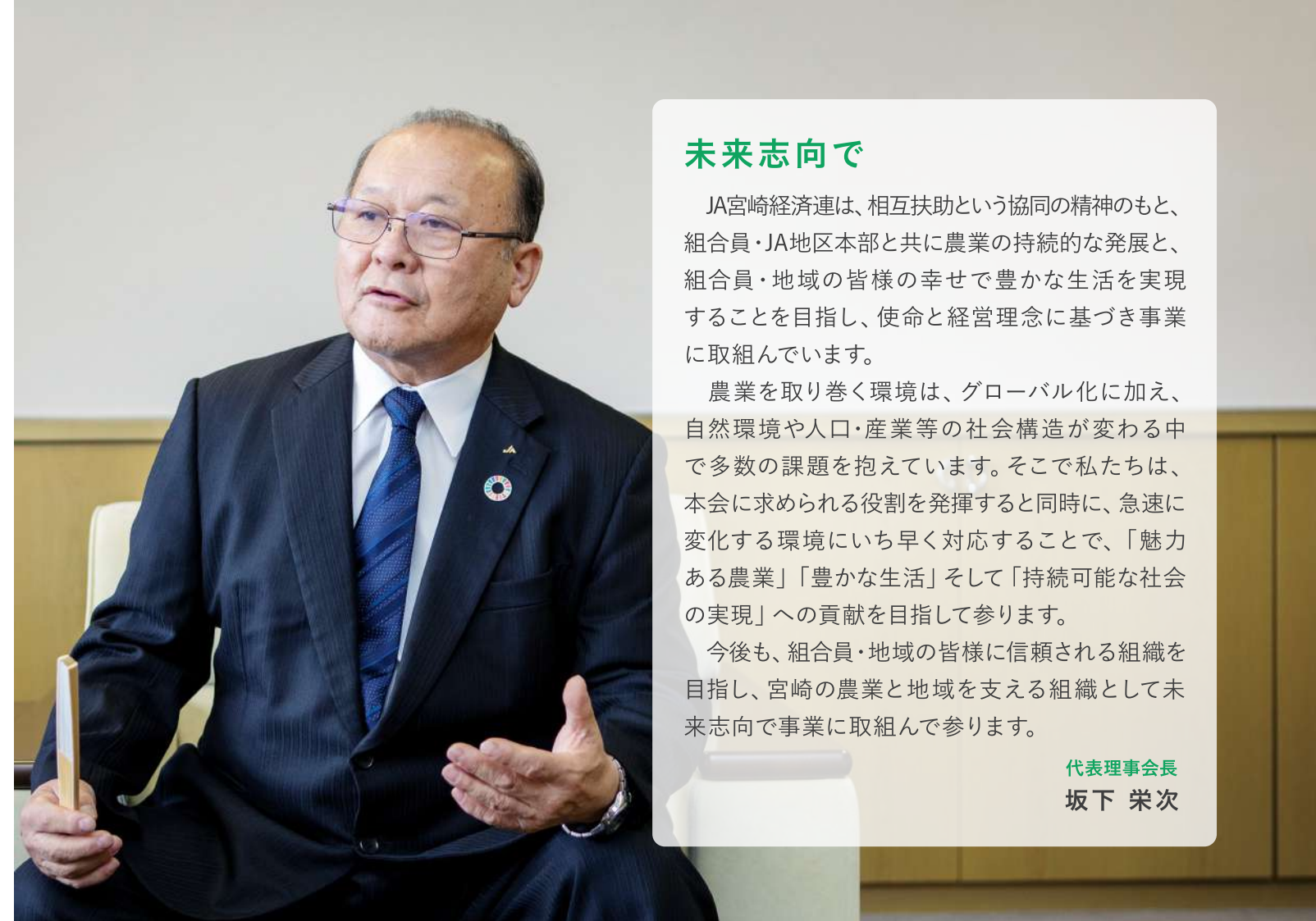
Creation

私たちは、農業県「みやざき」の持続的発展のために、新たな事業の創造に努めます。

貢献

Contribution

私たちは、「食」と「農」を通じ、豊かで活力ある地域社会を実現すべく地域と共に取組みます。



未来志向で

JA宮崎経済連は、相互扶助という協同の精神のもと、組合員・JA地区本部と共に農業の持続的な発展と、組合員・地域の皆様の幸せで豊かな生活を実現することを目指し、使命と経営理念に基づき事業に取り組んでいます。

農業を取り巻く環境は、グローバル化に加え、自然環境や人口・産業等の社会構造が変わる中で多数の課題を抱えています。そこで私たちは、本会に求められる役割を発揮すると同時に、急速に変化する環境にいち早く対応することで、「魅力ある農業」「豊かな生活」そして「持続可能な社会の実現」への貢献を目指して参ります。

今後も、組合員・地域の皆様に信頼される組織を目指し、宮崎の農業と地域を支える組織として未来志向で事業に取り組んで参ります。

代表理事会長
坂下 栄次



代表理事会長
坂下 栄次



代表理事副会長
平島 善範



常務理事
木村 能久



代表監事
川原 博之



常勤監事
田丸 浩

Overview

概要

名称 : 宮崎県経済農業協同組合連合会
設立 : 昭和28年4月1日
所在地 : 〒880-8556
宮崎県宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル 4F・5F
会員数 : 正会員21名、准会員14名
役員数 : 理事13名、経営委員2名、監事4名
職員数 : 521名（内正職員数282名）
事業区域 : 宮崎県内一円

（令和6年3月31日現在）

Our Keyword 本会を取り巻く環境認識とキーワード

- 高齢化・後継者不足による生産量減少見通し
- 遊休地・耕作放棄地の増加
- 加工業務向けの品質・価格重視の生産体制構築が必要
- 協同会社を中心に県内向け需要への安定確保必要
- 非主食用への転換誘導等今後の主食用米作付面積は減少傾向見込
- 肉牛繁殖農家戸数の減少
- 子豚供給体制の維持が必要

生産基盤への係わり

- ドライバー不足深刻→消費地への安定・継続が課題
- 集荷体制の整備必要 選果場従業員の確保難継続見通し
- 2024年問題による労働環境の変化へ対応必要
- 輸入資材を起点とした生産資材の価格増嵩・高騰
- 工場の安定稼働や製造原価の抑制に向けた数量確保が必要
- 飼料需要の減少に伴う商系業者の競争激化
- 大型法人や企業系畜産が増加傾向

物流対応問題 生産資材費削減 仕入多様化

- 農地集約進展による法人・大規模農家の増加見通し
- 系統利用率の低下

買取販売強化

- 消費形態の変化・多様化への対応が必要
- 卸売市場の弱体化→重点化・パートナー化必要
- 海外動向に大きく影響を受ける畜産物（輸入品・疾病等）

事業基盤

- 専門的な知識・技術を有した職員不足、高齢化
- 営農指導員減少や補助事業対応等による事務負担増大
→組合員に向く本業に支障
- 営農指導員の技術力の平準化の必要性
- 複合環境制御等の新技術への対応必要
- 酪農県域指導体制構築

専門技術 人財育成

- カーボンニュートラルに向け脱炭素化の動きが進む
- 「みどりの食料システム戦略」に対応した事業モデルチェンジの必要性
- 「脱プラ・減プラ」など環境配慮取組み加速
- 国産飼料原料や食品残渣など飼料コスト抑制に努める動きが活性化
- 堆肥利用の減少による畜産農家への影響

SDGs

- 消費形態の変化・多様化、アフターコロナに向けた流通・消費形態の変化
- EC（電子商取引）等拡大による新たなプロモーション手法の必要性
- 卸売市場の弱体化→重点化・パートナー化必要
- 海外動向に大きく影響を受ける畜産物（輸入品・疾病等）

ブランディング

- 投資案件の増加
- 働きやすい職場づくり・人財育成の必要性の高まり
- DXへのニーズの高まり

経営基盤の強化

Our Catchphrase キャッチフレーズ

JA宮崎経済連グループでは、令和4年度にグループのキャッチフレーズを掲げ、キャッチフレーズを体現するシンボルマークやキャッチフレーズを制作しました。

これらを使用し、改めてJA宮崎経済連グループの役割を消費者へ理解醸成を図るとともに、グループ役職員が共通認識と誇りを持って業務に取り組んでいます。

「いのち」を、
「みらい」へ
つなぐ役割を &

いのちとは、いただきますとごちそうさまの間にあるもの。

たくさんの野菜や果物などの農作物、

牛や豚、鶏などの動物から、いただくいのち。

食べることは、いのちをつなぐこと。

いのちは、食べる人、育む人、みんなの笑顔をつなぐ。

地域とともに、自然とともに、

これからもずっと、つながっていきますように。

宮崎の、日本の、そして、地球のみらいへ。

私たちは、食を通じて「いのち」をつなぎ、

誰もが豊かに暮らせる「みらい」へつなぐための役割を果たします。

園芸部

園芸部は、宮崎県内で生産された「野菜」「果物」「花卉」を全国へ安定供給するため、生産から販売まで一貫した指導・販売体制づくりを進めています。また、直販事業の拡大や耕種版インテグレーションモデルを確立し、生産基盤の維持と農業所得の向上を図ります。

生産基盤対策課



施設園芸ハウスでの農業実践による先進技術の確立

野菜・果樹・花卉の生産振興、営農指導員の育成・研修



品質向上・生産拡大を目指した現地巡回指導



営農指導員の資質向上に向けた研修会の実施

販売流通課



地区本部と一体となった販売や販促PR



付加価値をつけた差別化販売の取り組み



集出荷施設・青果物輸送体制の整備に向けた取り組み

園芸直販課



直接営業販売による売場の確保



集荷機能を活用した買取販売の強化



取引先・消費地ニーズに合わせた青果センター独自の加工・包装

営業所

東京営業所

関東・東北・甲信越地区への営業推進

大阪営業所

中部・近畿・岡山地区への営業推進

福岡営業所

中四国・九州地区への営業推進

営農指導部

営農指導課



品質向上、安定収量確保に向けた取り組み



規格統一に向けた取り組み

営農指導員体制に関する企画・運営、営農指導員の資質向上対策、生産コスト対策

米穀特産推進部

米穀特産課



買取による集荷拡大と取引先への直接販売強化



品質及び産地評価向上に向けた取り組み



安定生産に向けた平地型栽培の実証

米穀特産推進部は、宮崎県内で生産された「宮崎米」「みやざき茶」「乾しいたけ（原木栽培）」の全国への販売、加工業務向け野菜の推進をしています。また、米・茶・乾しいたけの生産基盤の維持・拡大や加工業務向け野菜の耕種版インテグレーションモデルの確立などの水田と畑地の生産振興にも取り組んでいます。

米・茶・乾しいたけの販売、代金精算

契約加工推進課



ドローン防除の実用化



機械化一貫体系に基づく収穫・集荷等の分業化



水田利用の実証

加工業務向け野菜の契約栽培推進、分業化に向けた機械化体系の構築、スマート農業の実践

資材部

資材部は、信頼される産地体制を目指し「安全・安心」な農産物を生産するために必要な肥料・農薬・農業機械・施設資材等を地区本部を通して組合員へ供給しています。

生産資材課



土壌診断に基づく適正施肥とBB肥料の普及推進



県内地域資源や担い手大型規格等を活用した低コスト資材の普及推進



生産資材の専門知識を有した人財の育成

農機施設課



共同購入トラクターの推進



型式設定による低コスト農機の普及



農業機械レンタルの普及拡大

燃料生活部

燃料生活部は、組合員の営農と生活に必要な燃料・生活用品を供給しています。燃料事業体制の整備や必要とされる資材・サービスの提供など、組合員・地域住民の営農サポートやくらしの支援事業の仕組みづくりに取り組んでいます。

燃料課



営農用・自動車用燃料やLPガスの安定供給



JA-S S店舗運営のモデル的取組み



保安・営業力強化にむけた人財育成

組織生活課



地区本部や女性部を対象としたエコマーク品研修会



JA 葬祭サービスレベル向上のための研修及び人財育成



宮崎県産の果物や野菜の素材を活かした飲料

酪農飼料部

酪農飼料部は、家畜の健康と安全を飼料の安定供給と衛生対策で守るとともに、新鮮な生乳と卵の生産販売を支援し、畜産農家の所得確保と経営安定を図ります。
また、関係先との事業連携により生産基盤の維持・拡大及び生産性向上に取り組めます。

飼料養鶏課



低コスト飼料の供給拡大



効率的な飼料製造及び供給体制の整備



養鶏基盤維持・拡大に向けた農家巡回指導

酪農課



生乳生産基盤の維持・拡大に向けた乳牛素牛供給の取組み



生産性向上に向けた農家巡回指導



県産牛乳の消費拡大及び理解醸成活動

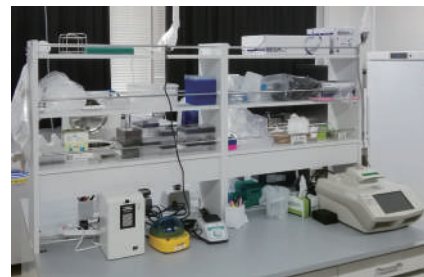
家畜衛生対策課



防疫強化の啓発



生産基盤の維持に向けた受精卵事業強化



家畜衛生検査の強化

畜産部

畜産部は、宮崎県の畜産生産基盤の維持拡大・生産性向上を主軸とし、畜産農家の経営指導と飼養管理技術の指導を行うとともに、安全・安心な畜産物を消費者に安定供給するための生産から販売まで一貫した体制を進めています。また、関係先との事業連携を通じて畜産農家所得確保並びに経営安定化に取り組めます。

肉用牛課



生産基盤の維持・拡大に向けた農家巡回指導



安定的な肉牛集荷・販売体制の確立



宮崎牛のブランディングと販促強化

和牛振興課

和牛の振興、子牛市場の活性化

養豚課



生産基盤の維持・拡大に向けた農家巡回指導

子豚・種豚等の取扱い、肉豚販売促進、宮崎ブランドポークの普及促進



優良な子豚・種豚の安定供給



宮崎ブランドポークのプロモーション活動

養豚農場運営課



子豚の安定供給体制づくり

直営農場の運営、養豚生産システムの実証



オールイン・オールアウト方式実践



堆肥循環型農業の構築

事業戦略部

事業戦略課

ブランド戦略課



広報番組

広報誌



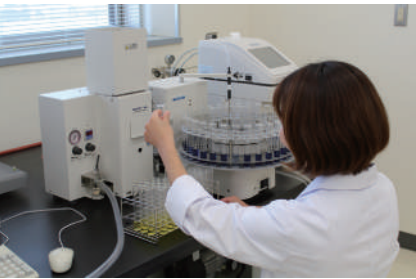
生産から販売まで一体となったニーズ対応型商品の開発



県外量販店でのフェア実施によるブランドPR



海外取引ルート開拓



検査・分析を活かした安全・安心の取組み

経営企画部

経営企画課：経営方針策定、事業計画及び予算の統制、決算、管財、税務
財 務 課：債権保全管理、債務管理、資金管理
関連事業課：協同会社の運営管理及び新規事業の企画

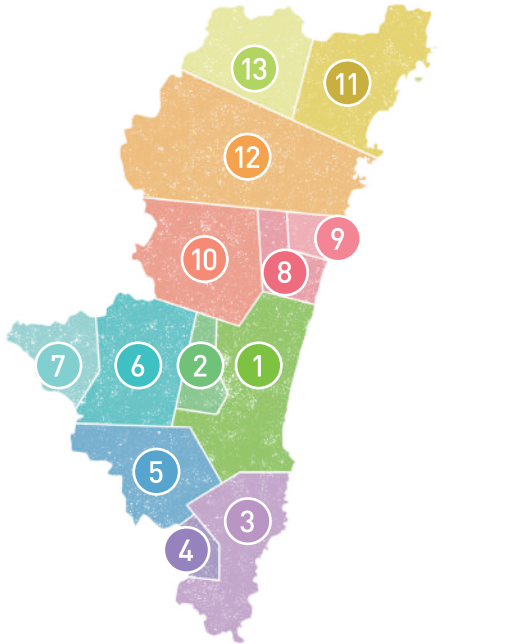
総務部

総務課：人事・給与・労務管理、採用、教育研修、人財育成
コンプライアンス推進課：コンプライアンス推進、内部検査業務

経済連グループが選ばれる組織となるため、新たな事業連携を推進するリーダーシップや効果的な広報活動、最適な輸出事業の構築を図るとともに、ニーズに対応した商品開発や指導購買と連動した検査・分析に取組み地域農業への貢献を図ります。

産地マップ

県内地区本部の
主要農畜産物





Brand みやざきブランドづくり

みやざきブランド推進本部は「新たな価値を創出し、みやざきブランドの信頼と情熱を次の世代へ」を基本目標として、生産・販売・PRが一体となり「6つの戦略」を展開します。

戦略
1



豊かで競争力のある「産地づくり」

- ①労働力減少に対応した新たな生産基盤の構築
- ②スマート農業の普及・定着化
- ③環境配慮と生産性の両立

戦略
2



将来の産地を担う「人づくり」

- ①産地の信頼を支える人づくり
- ②多様な経営体に対応したサポート体制の構築
- ③連携による労働力の確保

基本目標

新たな価値を創出し、
宮崎ブランドの信頼と
情熱を次の世代へ。

戦略
6



心をつかむ「ファンづくり」

- ①ブランドイメージとモノの価値が連動したプロモーション
- ②デジタルマーケティングによる新たなファンづくり

戦略
5



マーケットが求める「取引づくり」

- ①取引先と連携した農畜産物の価値向上
- ②世界市場を見据えたみやざきブランドの展開

戦略
4



新しい価値観に対応した「商品づくり」

- ①消費者と実需者の新しい価値観に寄り添った商品づくり

産地と消費者をつなぐみやざきブランド

6つの戦略に基づき、産地から消費者まで価値をつなぐ取組みを実践しています。

Promotion 001

「安全・安心・持続可能な農業」を産地から消費者へ

全てのブランド産地において「GAPの取組」の普及・定着への支援や、モデル産地での「GAP認証取得」に向けた具体的支援に取組むとともに、価値を伝える商品づくりに取組んでいます。



Promotion 002

「産地の想いを伝えるパートナー」との安定した取引づくり

ブランド戦略を共有する「ブランド・バリューチェーンパートナー」との安定した取引継続のために、トップ会議や営業強化に取組んでいます。また「Karada Good Miyazaki」を基軸としたPRやデジタルツールを活用したフェアの実施により、みやざきブランドの定着とファンづくりに取組んでいます。



Promotion 003

「オールみやざき」で取組む情報・魅力発信！

食に携わる飲食業や製造業に加え、様々な業種と産地が一体となり、商品・取引づくりや、みやざきブランドの情報・魅力発信に取組みます。



みやざき
ブランド
推進本部
Webサイト



みやざき
ブランド
推進本部
facebook



Karada
Good
Miyazaki
Webサイト



Our Initiative 安全安心の取組み

GAP の取組み

GAP は「農業生産工程管理」とも言われ、農業経営や生産現場に潜む様々なリスク（食品安全・環境保全・労働安全など）に対応する継続的な「改善活動」です。「安全・安心」な農畜産物の安定供給を行うための農業生産の基礎として、また農家経営とリスクから産地を守るために「GAP 取組み」の普及・定着化を目指します。



園芸の取組み

「整理・整頓・清掃・清潔・セーフティ」からなる「みやぎきブランド産地のGAPルール（5S活動）」をもとに「GAP取組み」の普及・定着化及び認証性GAPの団体認証に向けた支援を行っています。



茶の取組み

茶の品質及び安全性向上に向けた取組みの一環と、販売先ニーズへ対応するため、第三者認証GAPの取得・維持・拡大に向けた支援を行っています。



畜産の取組み

衛生対策・生産管理体制の統一化を図り、生産性向上に向けた取組みの一環として、養豚直営農場でJGAP認証を取得しました。今後も直営農場にて認証農場の拡大及び維持に取組みます。

Topic



GLOBAL G.A.P. の取組み

JA宮崎経済連は、関係各所とともに農産物生産管理の国際基準であるGLOBALG.A.P.の取組みを推進しています。

JAはまゆうピーマン部会の一部、JA尾鈴ミニトマト栽培グループ



(令和6年3月31日現在)

農畜産物の検査体制・品質管理

土壌診断や残留農薬検査、家畜衛生検査など総合的な検査・分析業務を通じ、農畜産物の信頼性を高めるとともに、結果に基づく営農指導強化に努めています。また協同会社への品質管理支援も行っています。



情熱みやぎき 農産物表示認証制度

化学合成農薬の使用回数や化学肥料（窒素成分）削減の基準値を満たした農産物を認証する制度です。食の安全・安心の確保と、環境負荷を低減した取組みを目指します。



牛トレーサビリティ

「牛がどこで生まれ、どこの誰が、どんな飼料を与えて育てたのか」を確認できるシステムです。個体識別番号で牛を一元管理し正確に伝達することで、食の安全性向上に努めています。

Web



Our SDGs

事業施策とSDGsとの関連



JA宮崎経済連の取組み



県内地域資源を活用したエコループシリーズ

sdgs initiatives 001

耕畜連携の取組みとして県内地域資源である堆肥を活用した BB 肥料である「エコループ」を開発し、県内 JA へ供給しています。化学肥料の一部を県内地域資源で代替することにより、地域資源の循環と化学肥料使用削減を行い、地域資源循環型の農業体系構築を図っています。



sdgs initiatives 002

県内外の学生や消費者に向けた本県産農畜産物への理解醸成を図るべく、食育活動を行っています。



sdgs initiatives 003

ドローンやロボットトラクタ等のスマート農業を活用する中で、有効性・効率化の検証をおこないながら、省力化・省人化を目的とした機械化体系構築に向けた実証を行っています。

Our Group Companies

協同会社・関連法人紹介

株式会社ミヤチク



〒889-4505
都城市高崎町大牟田4251-3
TEL: 0986-62-2901
FAX: 0986-62-5529

事業内容 肉畜生産・と畜・加工・販売、直売店・飲食店運営

認 証 ISO22000 (2010.4)



宮崎県農協果汁株式会社



〒889-1301
児湯郡川南町大字川南20016-3
TEL: 0983-27-1111
FAX: 0983-27-4584

事業内容 清涼飲料水製造・販売、農産加工品製造・販売

認 証 ISO9001 (2008.9)
FSSC22000 (2013.4)



株式会社くみあい青果



〒880-0834
宮崎市新別府町雀田1185
TEL: 0985-28-1217
FAX: 0985-27-8807

事業内容 青果仲卸業務、加工業務



株式会社ビブレアール宮崎



〒880-0841
宮崎市吉村町井手ノ中甲803番地
TEL: 0985-65-3316
FAX: 0985-65-3328

事業内容 ギフト・オフィス商品販売・葬祭関連（仏壇、墓石、墓じまい）、シロアリ防除、外壁塗装、外壁特殊洗浄、建設請負



株式会社エコープみやざき

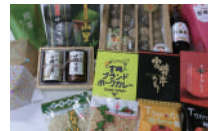


〒880-2114
宮崎市大字富吉1223番地
TEL: 0985-89-6100
FAX: 0985-89-6125

事業内容 食料品・日用品・衣料品・酒類等販売、生鮮食品等加工・販売



株式会社宮崎経済連直販



〒880-0211
宮崎市佐土原町下田島河添19323-1
TEL: 0985-89-6180
FAX: 0985-89-6181

事業内容 農林畜水産物（茶、千切大根、椎茸、開発商品他）販売・加工包装販売 他

認 証 JAS認証 (2006.12) ※茶



ジェイエイ・アグリシード株式会社



〒884-0005
児湯郡高鍋町大字持田5734
TEL: 0983-22-3081
FAX: 0983-22-3083

事業内容 接木苗（野菜）生産、種子、園芸資材販売



宮崎石油基地株式会社



〒880-0851
宮崎市港東三丁目7
TEL: 0985-60-5140
FAX: 0985-60-5141

事業内容 石油製品受入、出荷、保管、品質分析



株式会社ミヤベイ直販



〒880-0212
宮崎市佐土原町下那珂字下ノ山2940-32(石崎工業団地内)
TEL: 0985-72-1500
FAX: 0985-72-1600

事業内容 米穀販売、搗精、加工、保管、輸送・集荷

認 証 精米HACCP (2017.3)



株式会社宮崎農産



〒884-0102
児湯郡木城町大字椎木801-1
TEL: 0983-32-3894
FAX: 0983-32-3895

事業内容 漬物製造・販売

認 証 JAS認証 (1987.7)



株式会社ジェイエイフーズみやざき



〒881-0027
西都市大字南方3398-2
TEL: 0983-43-5351
FAX: 0983-43-5372

事業内容 冷凍野菜・カット野菜製造・販売、自社農場運営

認 証 GLOBAL G.A.P. (2018.5)
FSSC22000 (2018.8)



一般社団法人宮崎県酪農公社



〒885-0224
都城市御池町無番地
TEL: 0986-33-1816
FAX: 0986-33-1709

事業内容 乳用牛預託事業（保育・育成）、生乳生産、肉用牛（和牛繁殖・受精卵供給）、飼料生産



株式会社霧島農産



〒886-0006
小林市北西方734-120
TEL: 0984-27-0061
FAX: 0984-27-0063

事業内容 漬物製造・販売

認 証 JAS認証 (1987.7)
ISO9001 (2012.8)



株式会社JA物流みやざき



〒880-0032
宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル5F
TEL: 0985-31-2120
FAX: 0985-23-3755

事業内容 農畜産物保管輸送、利用運送事業、一般貨物自動車運送事業



全農チキンフーズ株式会社



〒108-0075
東京都港区港南二丁目12-33
品川キャナルビル4F
TEL: 03-6864-0200
FAX: 03-6864-0172

事業内容 食鳥・関連食肉販売、畜産物加工・加工品販売

宮崎くみあいチキンフーズ株式会社

〒880-0943 宮崎市生目台西3丁目2-2
TEL: 0985-89-6160 FAX: 0985-89-6165



南日本くみあい飼料株式会社



〒890-0064
鹿児島市鴨池新町15農協会館7F
TEL: 099-258-5681
FAX: 099-254-7667

事業内容 配合飼料製造・販売

認 証 ISO9001(2003.11)





「いのち」を、 「みらい」へ つなぐ役割を

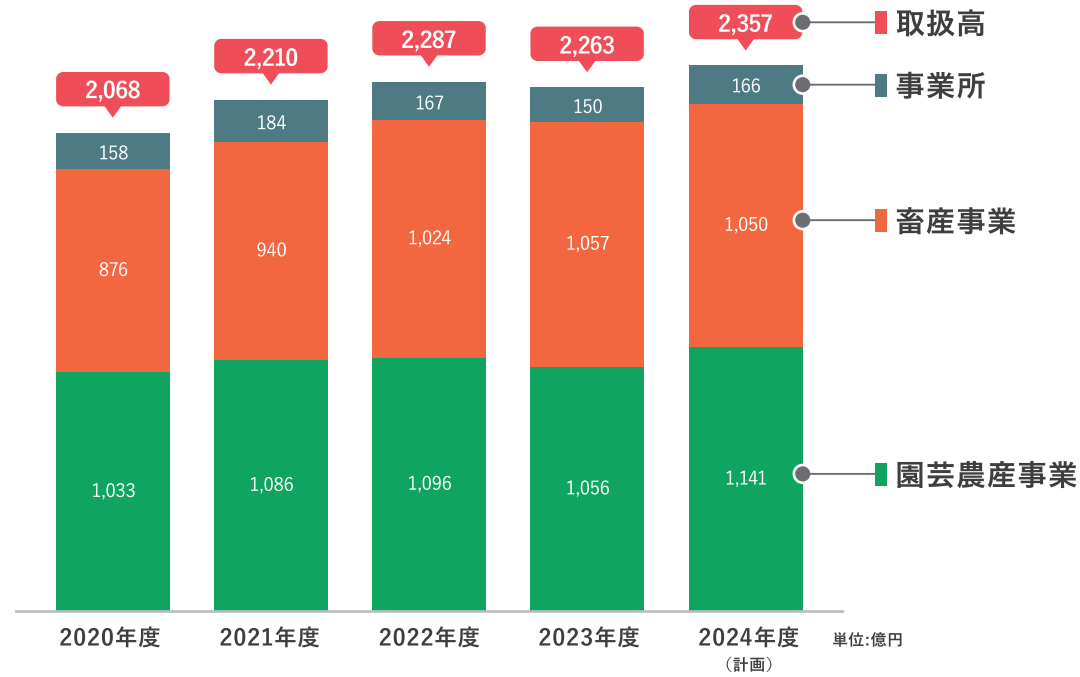
いのちとは、いただきますとごちそうさまの
間にあるもの。たくさんの野菜や果物など
の農作物、牛や豚、鶏などの動物から、
いただくいのち。食べることは、いのちを
つなぐこと。いのちは、食べる人、育む人、
みんなの笑顔をつなぐ。地域とともに、
自然とともに、これからもずっと、つながっ
ていきますように。宮崎の、日本の、そして、
地球のみらいへ。

私たちは、食を通じて「いのち」をつなぎ、
誰もが豊かに暮らせる「みらい」へつなぐ
ための役割を果たします。

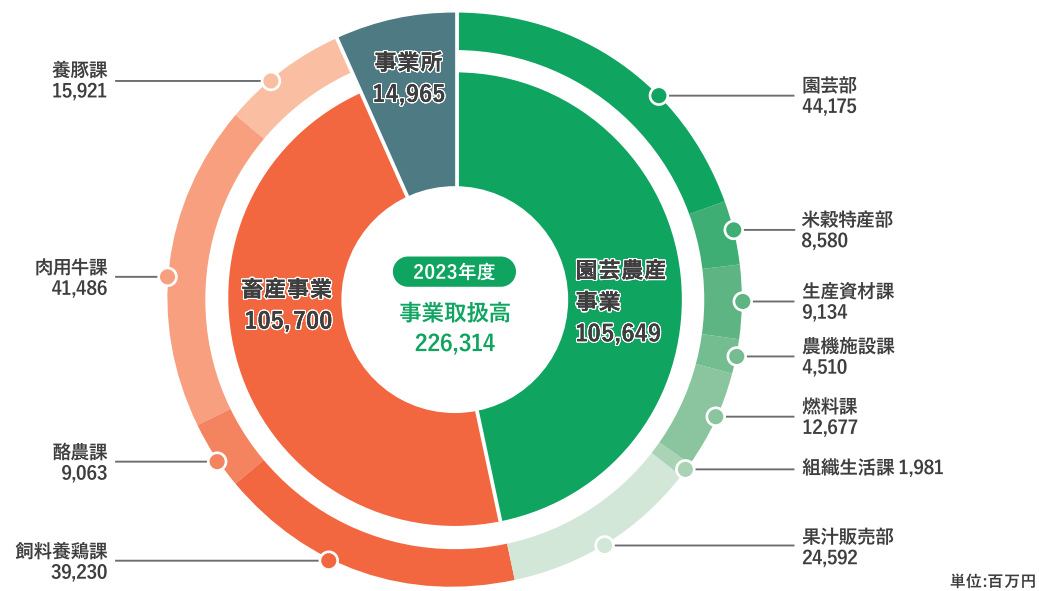
 JA宮崎経済連グループ

Business Transaction

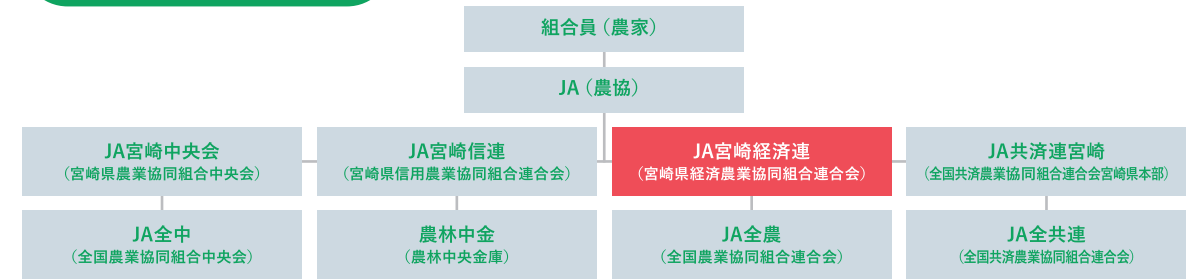
取扱高の推移



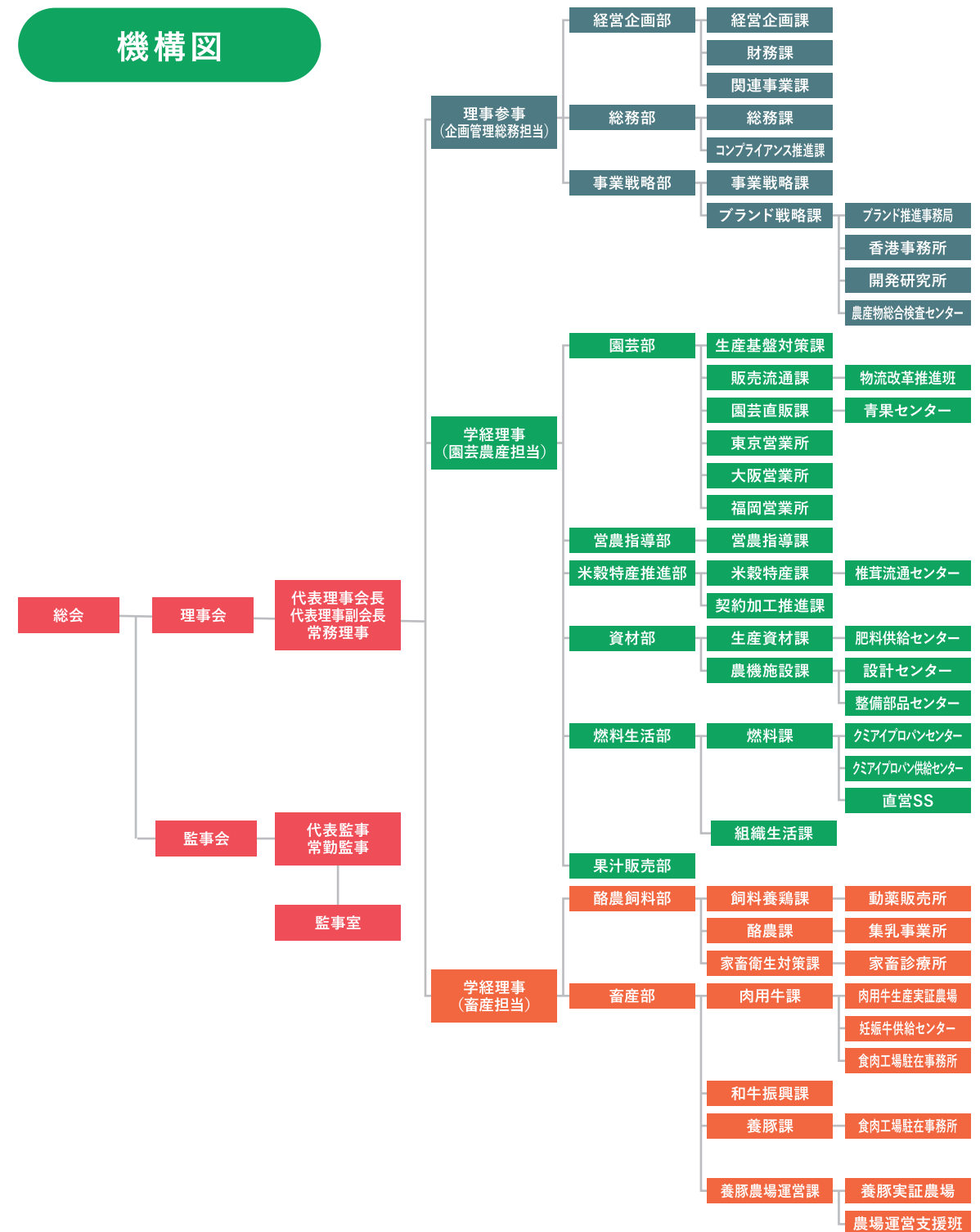
2023 年度事業取扱高



系統機構図



機構図



Our Access

経済連事務所・事業所所在地



本館

〒880-8556 宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル4F・5F
(総務課) TEL 0985-31-2100 FAX 0985-31-5760

経済連各部署の連絡先

経営企画部(市外局番0985)

◆経営企画課	31-2127
◆財務課	31-2117
◆関連事業課	31-2406

総務部(市外局番0985)

◆総務課	31-2100
◆コンプライアンス推進課	31-2129

事業戦略部(市外局番0985)

◆事業戦略課	31-2350
◆ブランド戦略課	31-2150

園芸部(市外局番0985)

◆生産基盤対策課	31-2154
◆販売流通課	31-2162
◆園芸直販課	30-4525

営農指導部(市外局番0985)

◆営農指導課	31-2247
--------	---------

米穀特産推進部(市外局番0985)

◆米穀特産課	31-2177
◆契約加工推進課	31-2168

資材部(市外局番0985)

◆生産資材課	31-2332
◆農機施設課	31-2351

燃料生活部(市外局番0985)

◆燃料課	31-2363
◆組織生活課	31-2302

酪農飼料部(市外局番0985)

◆飼料養鶏課	31-2140
◆酪農課	31-2128
◆家畜衛生対策課	31-2414

畜産部(市外局番0985)

◆肉用牛課	31-2130
◆和牛振興課	31-2256
◆養豚課	31-2134
◆養豚農場運営課	31-2233



バス： 宮崎空港よりリムジンバスにて橋通3丁目下車、平和台線(8番線)乗り換え、花殿町下車徒歩1分(約40分程度)、宮崎駅(西口)よりデパート前まで徒歩8分、平和台線・花殿町下車徒歩1分(約20分程度)

タクシー： JR宮崎駅(西口)より10分
JR宮崎神宮駅より10分
宮交シティより15分

事業所所在地・連絡先

Contact information

◆農産物総合検査センター

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)63-5641/FAX(0985)59-1410

◆開発研究所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)59-1234/FAX(0985)59-1410

◆肥料供給センター

〒880-0851 宮崎市港東三丁目7
TEL(0985)60-7539/FAX(0985)20-6106

◆設計センター

〒880-8556 宮崎市霧島1丁目1番地1 JAビル5F
TEL(0985)31-2341/FAX(0985)31-5781

◆自動車整備工場(JA宮崎中央自動車整備工場)

〒880-1101 東諸県郡国富町大字本庄1274
TEL(0985)75-3874/FAX(0985)75-8401

◆農機整備工場

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町立毛996-1
TEL(0985)31-2190/FAX(0985)31-5550

◆整備部品センター

〒880-0036 宮崎市花ヶ島町立毛996-1
TEL(0985)31-2368/FAX(0985)29-5911

◆青果センター

〒880-2111 宮崎市大字柏原字倉瀬384-1
TEL(0985)30-4525/FAX(0985)47-0745

◆椎茸流通センター

〒883-0033 日向市大字塩見字柳田11974-1
TEL(0982)52-5221/FAX(0982)52-5223

◆茶流通センター

〒880-2114 宮崎市大字富吉出下1252番地
TEL(0985)89-6130/FAX(0985)89-6133

◆プロパン工場(クミアイプロパンセンター/クミアイプロパン供給センター)

〒880-2223 宮崎市高岡町浦之名字山田3153
TEL(0985)82-5627/FAX(0985)82-5629

◆直営SS

〒881-0005 西都市大字三宅字下鶴9402-1
TEL(0983)41-0427/FAX(0983)41-1701

◆家畜診療所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)31-2414/FAX(0985)31-5762

◆動薬販売所

〒880-0943 宮崎市生目台西三丁目2-2
TEL(0985)63-1278/FAX(0985)59-1573

◆霧島集乳事業所

〒889-4412 西諸県郡高原町大字西麓3241
TEL(0984)25-6700/FAX(0984)25-6701

◆肉用牛生産実証農場

〒884-0102 児湯郡木城町大字椎木字大戸亀1172
TEL(0983)32-4000/FAX(0983)32-4000

◆妊娠牛供給センター

綾農場
〒880-1303 東諸県郡綾町大字南俣5324-20
TEL(0985)77-1577/FAX(0985)77-1577

小林農場

〒886-0006 小林市北西方7778
TEL(0984)27-2150/FAX(0984)27-2150

◆養豚実証農場

養豚実証 川南農場
〒889-1300 児湯郡川南町大字川南21632
TEL(0983)27-0112/FAX(0983)27-1487

養豚実証 高原農場

〒889-4411 西諸県郡高原町広原3784-1
TEL(0984)42-5581/FAX(0984)42-5582

養豚実証 大久保繁殖農場

〒889-1301 児湯郡川南町大字川南10863-1
TEL(0983)27-5988/FAX(0983)27-6054

養豚実証 大久保第一肥育農場

〒889-1302 児湯郡川南町大字平田5902
TEL(0983)21-1350/FAX(0983)21-1350

養豚実証 大久保第二肥育農場

〒889-1301 児湯郡川南町大字川南9520-8
TEL(0983)27-5701/FAX(0983)27-5701

養豚実証 西都繁殖農場

〒881-0102 西都市平郡3996-1
TEL(0983)45-1977/FAX(0983)45-1813

養豚実証 えびの第一肥育農場

〒889-4314 えびの市大河平木屋ヶ野897
TEL(0984)33-2265/FAX(0984)33-2265

養豚実証 小林肥育農場

〒886-0006 小林市北西方八久保7703-3-1
TEL(0984)27-1052/FAX(0984)27-1052

養豚実証 御池繁殖農場

〒885-0224 都城市御池町5844-279
TEL(0986)33-2638/FAX(0986)33-2658

養豚実証 渡司農場

〒885-0221 都城市高野町2744-18
TEL(0986)33-2816/FAX(0986)33-2819

養豚実証 高崎肥育農場

〒889-4505 都城市高崎町大牟田5260-1
TEL(0986)62-1755/FAX(0986)62-1755

養豚実証 高城第一肥育農場

〒885-1311 都城市高城町有水1952-2
TEL(0986)53-1981/FAX(0986)53-1981

養豚実証 白鳥繁殖農場

〒889-4302 えびの市末永3873-4
TEL(0984)25-3855/FAX(0984)25-3855

養豚実証 野尻麓繁殖農場

〒886-0212 小林市野尻町大字東麓2759-2
TEL(0984)21-6335/FAX(0984)21-6335

養豚実証 綾繁殖農場

〒880-1303 東諸県郡綾町大字南俣字広沢原 5672番地1外
TEL(0984)46-1167/FAX(0984)46-1168

養豚実証 山田第一肥育農場

〒889-4601 都城市山田町山田4841-6
TEL(0986)45-6760/FAX(0986)45-6761

養豚実証 高城第二肥育農場

〒885-1311 都城市高城町有水1952-19
TEL(0986)53-1701/FAX(0986)53-1702

養豚実証 山田第二肥育農場

〒889-4601 都城市山田町祝谷199-95
TEL(0986)64-1800/FAX(0986)64-1825

養豚実証 山田第三肥育農場

〒889-4601 都城市山田町祝谷199-95
TEL(0986)64-2112/FAX(0986)64-2112

◆食肉工場駐在事務所

(株)ミヤチク都農工場駐在事務所
〒889-1201 児湯郡都農町大字川北15530
TEL(0983)25-2309/FAX(0983)25-2275

(株)ミヤチク高崎工場駐在事務所

〒889-4505 都城市高崎町大牟田4268-1
TEL(0986)62-0550/FAX(0986)62-4869

(株)SEミート宮崎駐在事務所

〒881-0001 宮崎県西都市岡富1500番地
TEL(0983)32-0620/FAX(0983)32-0621

(株)ナンチク駐在事務所

〒889-8605 鹿児島県曽於市末吉町二之方1828
TEL(0986)76-6503/FAX(0986)76-7451

◆県外各営業所

東京営業所
〒143-0001 東京都大田区東海三丁目2-1
東京都中央卸売市場大田市場内事務棟8F
TEL(03)5492-5371/FAX(03)5492-5377

大阪営業所
〒553-0005 大阪府福島区野田一丁目1-86
大阪府中央卸売市場業務管理棟14F1405
TEL(06)6469-7743/FAX(06)6469-7746

福岡営業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前二丁目20-1大博多ビル5F
TEL(092)471-7310/FAX(092)471-7312

◆海外事務所

香港事務所
Unit 1201-6, 12/F, Metro Plaza Tower 1, 223 Hing Fong Road, Kwai Chung, N.T., Hong Kong
TEL(852)2973-9000/FAX(852)2623-9192

Our History 沿革

[illegible]